

FUJITSU 統合業務ソリューション SUPER BENECAI お客様事例紹介 株式会社ポーラ

肌に美しい未来を **POLA**



【本社】 東京都品川区西五反田2-2-3
【設立】 1946（昭和21）年7月11日
【資本金】 800百万円
【従業員数】 1,005名（2010年1月現在）



● お客様



株式会社ポーラ
人事部 岩撫 正行 氏

SUPER BENECAI導入前のご状況についてお聞かせください。

「高コスト」「計算結果が遅い」「計算過程が分からない」だから「不安」だった」

「SUPER BENECAI導入前はポーラ単独で約60万円、子会社の分も併せると年間200万円程掛けて退職給付債務（PBO）の計算を外部の委託機関に委託していました。PBO計算に使用する人事データのやり取りに時間が掛かるうえ、計算結果が提示されるまで2ヶ月程度掛かるので、毎年経理部に急かされていたのを記憶しています。

また、計算結果受領後も、評価基準日と決算日が乖離していたため、自社で補正計算を行う必要があり面倒でした。

全体的には“ざっくりとした計算”だなという印象と、本当にこの数値は妥当なのかという思いがあったのも記憶しています。

PBOは毎期数値が大きく変動するので、計算数値を様々な観点から細かく分析したい思いもありましたが、分析に使える材料が手に入らないので何も出来なかったのが実状です。委託機関に問い合わせてもPBO計算に精通している方が窓口になっておらず、対応も遅かったのが不安でした。」

SUPER BENECAIの導入経緯をお聞かせください。

「PBO計算の“ブラックボックスを解消”」

● 外部委託計算をやめてSUPER BENECAIを導入されたのはなぜですか？

「様々な要因がありますが、一番は当社がPBO計算に求める点でいくつか合わない点があったからです。

具体的には、毎期掛かる多額のコスト、計算結果に時間が掛かる点、そして何より企業の財務情報に重要な影響を及ぼすPBOの計算がブラックボックス化していることです。当社内でもPBO計算の重要性が高まりつつある中、毎期変動するPBOの計算過程がブラックボックス化している状況が問題視されるようになり、このような状況を変えるためシステム導入によるPBOの自社計算を検討し始めました。

自社計算化しても計算結果が決算数値として使用できなければ意味がありませんから、システム選定において当社で色々と比較検討を行いました。特に、計算過程の明確化と監査対応に重点を置いて検討した結果、最終的に監査法人からも評価を得ていたSUPER BENECAIに決めました。」

SUPER BENECAIの操作性についてお聞かせください。

「ソフトの使い勝手は抜群です。一連の作業について当社専用の手順書を作成してもらっているので誰でもすぐに使えると思います。操作に手間取ることが無いので、PBO計算作業が負担に感じることはありません。また、比較的時間違えることが多い人事データについてはエラーチェック機能で間違いデータは弾いてくれるので安心です。バックアップも簡単に取れるので過去の計算状況がすぐに確認できるのも良いですね。」

SUPER BENECAL導入のメリットをお聞かせください。

「何よりも“安心”そして“頼りになる”」

「当初の導入目的であったコスト削減、計算結果入手の早期化、計算過程の明確化などに加え、製品機能も充実しており全般的に期待以上でしたが、最も満足している点は専門知識を備えたコンサルタントによる担当制のサポートです。

今後、当社の担当が変わったとしても、当社の退職金制度やこれまでの経緯を担当コンサルタントが熟知しているので不安はありません。操作する側に退職給付会計に関する知識が無くてもサポートが充実しているので、今後ソフトを使い続けていくという観点からは非常に安心感があります。

当社もPBO計算以外で色々ソフトを使用していますが、問題が発生して問い合わせても「手元と同じ環境が無いので実際に見てみたいと分からない。」と言われて直ぐにサポートしてもらえない事が多いんですよ。その点、御社は退職金制度だけでなく当社のシステム環境も熟知しており、同じシステム環境が御社の中に常に用意されているので直ぐに対応してくれ頼りになります。」

退職金制度変更時の担当者の対応についてお聞かせください。

「迅速”そして“柔軟に”対応してくれる」

「日常のサポートと同様、レスポンスのスピードが早く助かります。以前、委託機関に計算委託していた時には、対応の遅さもさることながら、退職金規程と人事データを渡すだけで、計算方針や会社の実態についてのヒアリングもなく不安に感じたものです。その点、退職金制度見直しの連絡をすると直ぐに足を運んでくれて打合せの機会を設けてくれました。

新退職金規程に基づく試算では単純に計算数値だけが出てくるのではなく、新退職金規程の概要、計算基礎率算定根拠や変更理由、PBO増減と退職金規程変更の関連性など、様々な資料提供と共に報告会で解説もしてくれるので費用対効果が非常に高いと感じました。そして、担当者として一番助かったのは、当社のタイトなスケジュールに合わせて柔軟に対応して頂けたところですね。

当社では、グループ会社再編などでPBOの試算及び決算時の管理など様々な課題がありましたが、SUPER BENECALでは1つのシステムの中で複数会社を取り扱うことができ、登録会社の1社だけを計算したり、全社まとめて計算したりと、グループ会社の状況に応じて柔軟な対応ができるので助かっています。」

SUPER BENECALに今後期待することをお聞かせください。

「この分野での圧倒的なシェア確保です。今後も益々シェアを拡大してもらってPBO計算のスタンダードな存在を維持し、一層の確立を目指して欲しいと思います。これまで御社は業界に先駆けて会計基準対応や機能追加をされてきていると思います。IFRS対応は、この分野でも大きな転機になると思いますし、世の中の流れも自社計算へと移ってくると思いますので、これを機に圧倒的なシェアを目指して欲しいですね。」

※ SUPER BENECALとは・・・

決算に必要な退職給付関連数値算定だけでなく、最大20年間の中長期予測機能や各種シミュレーション・分析機能を装備し、導入実績570社を超えるお客様にて決算数値算定及び経営管理ツールとしてご活用頂いている退職給付債務管理パッケージです。

国内基準はもとよりIFRSにも対応しており、決算の他、予算管理・事業計画・キャッシュフロー予測・制度変更影響分析・人事管理など幅広い目的で活用可能です。担当制サポートにより通常のサポートのみならず監査対応も安心です。

サポート担当者



富士通Japan株式会社
共通ソリューション開発本部
第三ソリューション事業部
第三ソリューション部
花岡 裕美

SUPER BENECAL導入から現在まで

【退職給付制度】

(導入時) 退職金、適格退職年金制度
(現在) 退職金、確定給付企業年金制度

【監査法人】

新日本有限責任監査法人

【計算対象会社】

(導入時) グループ5社一括計算
(現在) グループ3社一括、2社独立計算

(株)ポーラ
(株)ポーラ・オルビス・ホールディングス
(株)ビーオーリアルエステート

【SUPER BENECAL対応経緯】

2004年 SUPER BENECAL導入
2007年 組織再編 (持株会社体制へ移行)
2008年 制度変更 (退職金制度変更)
2008年 組織再編 (グループ2社独立計算対応)

2009年 制度変更 (確定給付企業年金制度へ移行)

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社
共通ソリューション開発本部
第三ソリューション事業部
第三ソリューション部 退職給付会計チーム
E-mail : contact-benecal@cs.jp.fujitsu.com

ご案内担当